

【イベント】
第10回 戦史検定

実施日＝11月17日(日) 東京・大阪同時開催
会場＝読売理工医療福祉専門学校(東京)
堺市産業振興センター(大阪)
受験内容＝初級、中上級の2コースあり。併願受験可。初級合格者の再受験可。試験方法はマークシートによる五者択一方式。
当日受験は各試験会場で先着30名まで受付。
受験料＝初級3800円／中上級5500円／併願8000円

検定収益を国内外の「戦没者慰霊碑」保全費に充てている「戦史検定」では、昭和の戦争について理解を深めることができる。出題範囲は支那事変(日中戦争)・ノモンハン事件・大東亜戦争を通じた昭和の戦争を主題とし、帝国陸海軍建軍以降の近代史と当時の社会情勢・世相・常識などから出題される。

申し込み方法
申し込み期間＝受付中～10月14日
申し込み先：「戦史検定」公式サイト
http://www.senshikentei.org/
※申し込みは公式サイトでのみ受付中



【Book】
学研まんが 対決日本史シリーズ3巻
大坂の陣

監修／大石学(東京学芸大学教授)、杉本寛郎(富士山かぐや姫ミュージアム学芸員)
まんが／城爪章
本体1400円＋税 好評発売中
＜発行元＝学研プラス＞

日本の歴史に大きな影響があった「合戦」を、実力派の漫画家の作画と堅実な考証の下、わかりやすくまとめた歴史漫画シリーズ。3巻「大坂の陣」では、徳川家康、豊臣秀頼、淀殿、真田信繁など、両陣営の心情や思惑、両軍の戦略、戦術などをわかりやすく描いている。合戦の様子も丁寧に描写されており、武士たちによる迫力満点の戦いを目にする事ができる。巻末には豊富なビジュアル資料や人物ファイル、年表なども掲載している。



【展覧会】
菊川京三の仕事
一『國華』に綴られた日本美術史

期間＝11月2日～12月22日
会場＝栃木県立美術館
観覧料＝一般900円／高校・大学生600円
※中学生以下無料。 ※11月3日(文化の日)は観覧無料。
http://www.art.pref.tochigi.lg.jp/

本誌連載中のモリナガ・ヨウ氏の祖父で、日本初の美術研究誌『國華』の木版挿絵画家として活躍した菊川京三氏を紹介する展覧会。菊川氏は國華社でコロタイプ木版による複製画の模写制作に従事。本展では栃木県立美術館に寄贈された600点以上のコロタイプ木版複製図版とその下絵類より、厳選された一部の作品が展示される。

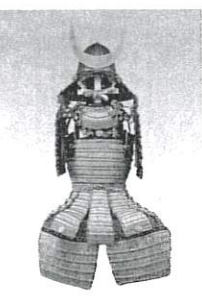


▲伊藤若冲作「葡萄双鶏図部分」／國華第100号(1906年)掲載

【展覧会】
特別展
侍～ものふの美的系譜～

期間＝9月7日～11月4日
会場＝福岡市博物館 2階特別展示室
観覧料＝一般1500円／高校・大学生900円
※中学生以下無料。
https://samurai2019.jp/

武士が勃興した平安時代中期から桃山時代まで、約600年にわたる刀剣・甲冑の歴史的な進化を紹介する展覧会。天下五剣のひとつに数えられる「太刀 銘 光世作 名物大典太」、織田信長が黒田孝高に授けた「庄切長谷部」など、国宝・重要文化財の刀剣や甲冑が一堂に集結する。また全国各地の有名神社や旧大名、博物館、美術館が所蔵する絵画や美術品も展示される。



▲白澤浅敷系成服巻 兜大袖付 袴八幡當敷

【展覧会】
企画展「マンモス展」
一その「生命」は蘇るのか～

期間＝開催中～11月4日
会場＝日本科学未来館 1階企画展示ゾーン
入場料＝19歳以上1800円／小学生～18歳1400円／4歳～小学生未満900円
※3歳以下は無料。障害者手帳所持者および付き添い人1名まで無料。
※上記入場料を支払うと、常設展も観覧できます。
https://www.mammohten.jp/

マンモスと生命科学をテーマにした企画展。冷凍展示室ではユカギルマンモスの頭部をはじめ、近年永久凍土から発掘されたマンモスの冷凍標本の数々を公開。また仔ウマや仔イヌ、ライチョウ、ユカギルバイソンの冷凍標本なども展示される。さらに近畿大学で進行中の「マンモス復活プロジェクト」についても、最先端の生命科学とともに紹介する。



▲ユカギルマンモス・頭部冷凍標本。

【展覧会】
遊就館特別展
靖国神社 御創立150年特別展
後編 一御創立～現在～

期間＝開催中～12月8日
会場＝靖国神社 遊就館1階企画展示室
拝観料＝大人300円／高校・大学生100円
※中学生以下及び常設展拝観者無料。
http://www.yasukuni.or.jp/

令和元年に創立150年の節目の年を迎えた靖国神社。それを記念した特別展が、2018年より前期・後期にわかれて遊就館で実施されている。開催中の後編では、靖国神社創建から今日までの神社史を中心に、神社所蔵の宝物史料を展示。東京九段坂上に「招魂社」として創建されて以来、靖国神社150年の歩みを知ることができる。



▲靖国神社大村大輔之像 明治26年 / 楊斎延一画。

ランチェスタ・モデル
戦争科学の先駆者たち

【特集】アメリカ海兵隊戦車隊/新解釈・桶狭間の戦い

ミリタリー・戦史Magazine

Rekishi Gunzou
歴史群像



新解釈
桶狭間の戦い
信長は本当に「正面攻撃」で勝利したのか?

アメリカ海兵隊戦車隊
島嶼戦で培った強靱な突破戦術

日本海軍 小型潜水艇全史
“決死兵器”から“必死兵器”への変貌

OCT. 2019 No.157
本誌価格 ¥935(税別)

戦跡レポート
マーシャル諸島
日本から一番遠い南洋委任統治領
その死闘の跡をたどる

“肥前の熊”
龍造寺隆信
【前編】国衆から肥前の覇者へ

獅子奮迅!
WWI ドイツ東洋艦隊

カラー着色写真で甦る
多砲塔戦車の時代

【※】印のプレゼントは、プレゼントの発送をもって発表に代えさせていただきます。
08提供 学研プラス https://hon.gakken.jp/book/ 09提供 特別展 侍～ものふの美的系譜～ https://samurai2019.jp/
10提供 栃木県立美術館 http://www.art.pref.tochigi.lg.jp/ 11提供 靖国神社 遊就館 http://www.yasukuni.or.jp/